



2025年12月17日

各 位

会社名 アジア航測株式会社
代表者名 代表取締役社長 畠山 仁
(コード: 9233 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役経営戦略本部長 梅村 裕也
(TEL. 044-969-7230)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、自社の資本コストや資本収益性、市場評価について現状を分析・評価し、改善に向けた方針・目標について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の現状評価

当社の自己資本利益率（ROE）は過去4年間において9%以上で推移したもの、直近期末時点で8.4%でした。2026年9月期に最終年度を迎える現中期経営計画の「目標数値9%以上」をやや下回りましたが、引き続き安定した向上を図ってまいります。

株価純資産倍率（PBR）は前期末時点では1.02倍でしたが、直近期末時点では0.97倍となりました。依然として当社株価は比較的割安な水準で推移しており、株価の改善が必要なものと評価しております。

	2021年 9月期	2022年 9月期	2023年 9月期	2024年 9月期	2025年 9月期
売上高（百万円）	32,506	33,674	37,304	40,270	41,591
営業利益（百万円）	2,338	2,465	2,746	2,850	2,856
当期純利益（百万円）	1,729	1,727	1,848	1,902	1,803
1株当たり当期純利益（円）	95.82	95.52	102.18	104.73	99.09
1株当たり純資産額（円）	944.94	1,005.57	1,093.81	1,151.33	1,206.81
自己資本比率（%）	59.1	57.7	58.7	57.5	55.4
期末株価（円）	934	760	898	1,171	1,175
1株当たり配当金（円）	25	28	31	44	44
ROE（%）	10.6	9.8	9.7	9.3	8.4
ROA（%）	9.0	9.1	9.1	8.7	8.0
P E R（倍）	9.75	7.96	8.79	11.18	11.86
P B R（倍）	0.99	0.76	0.82	1.02	0.97

2. 改善に向けた今後の方針と取組

上記現状を踏まえ、当社は以下の方針で改善に取り組んでまいります。

1) 中期経営計画の達成による事業成長

- ・現中期経営計画（2023年10月～2026年9月）においてROEの目標を9%以上に、2033年9月期までの長期ビジョンにおいてROEの目標を10%に設定。
- ・事業ポートフォリオ経営を確立し、AAS-DX*の推進や積極的な人的資本投資等により事業成長を果たす。

*AAS-DX (Asia Air Survey - Digital Transformation)：当社が標榜する『センシングイノベーションが生活・インフラに融合した未来社会の構想』と『経営戦略を強力に推進するIT基盤整備』のふたつの意味をあわせたDX（デジタルトランスフォーメーション）を指す言葉。

- ・新規事業の展開により、成長市場への進出とビジネスモデルの転換を図る。

※詳細につきましては2023年9月29日に公表した「新長期ビジョン・新中期経営計画の策定に関するお知らせ」をご参照ください。

2) 株主還元の充実

- ・現中期経営計画における「配当性向35%以上」の目標に基づき、株主還元の充実を図る。

※2025年9月期の年間配当金は1株につき44円（配当性向44.4%）であり、2026年9月期の年間配当は、1株当たり44円（配当性向39.4%）を予想しております。

3) 積極的なIR活動の推進

以下のとおり、株主、投資家に向けた更なるIR活動の推進により、市場への当社の理解、認知度を高める。

- ・決算説明会やIRイベント等を通じ、個人投資家、機関投資家とのコミュニケーションの機会の充実を図る。
- ・投資家に向けた積極的な情報開示により、当社の事業展開を幅広く周知する。

以上